

平成 14 年 11 月 3 日

柴沼克己
(国際委員会、ルール委員会)

ISAF Annual Conference 2002 会議出席について
(報告)

見出し会議の担当委員会である「International Judge Sub-committee」への出席並びに関係委員会への傍聴につきましては、日程等を含め下記の通りでしたので報告いたします。

記

、[日程]

11月 7日(木) 関西空港 午前10時50分発 <経由地のアムステルダムで1泊>
8日(金) 午後8時5分 キプロス・ラルナカ着
13日(水) キプロス・ラルナカ 午前9時発 アムステルダム経由
14日(木) 午前9時5分 関西空港着

、[ホテル]

会場である「Four Seasons Hotel」

、[会議]

9日(土) IJSC(International Judge Sub-committee)会議に出席
11日(月) Race Officials Committee を傍聴
12日(火) Racing Rules Committee を傍聴

、[経費]

255,774 円(詳細は別紙の通り)

、[IJSC 会議内容]

時 間:午前10時～午後6時、

出席者: Josje Hofland-Dominicus(議長)、Brenard Bonneau, Carlos Diehl, Manfred Piso,
柴沼克己(部分参加: Ken Ryan ISAF 福会長、Ion Echave IJSC のメンバー
であるが他のワーキング・グループに参加のため)

欠席者: Giojia Lauro(委員長)、Sally Burnett, Jim Capron(以上はレイ・ヴィトン・カップのアンパイアとしてニュージーランドにいるため)、SweeHungTan

1、2001 年会議の議事録について …… 承認

2、インターナショナル・ジャッジ(International Judge/以下 IJ と書きます)・プログラム

(a)2002 年の IJ について

380 名の IJ がいて、133 名が任期満了となり 130 名が再任の申し込みをし、117 名が承認・推薦された。また 29 名が新規申請をし 20 名が承認・推薦された。翌年の IJ は従って 384 名となった。(レース・オフィシャルズ委員会の正式承認が前提)

日本からの 4 年任期申請者は、鈴木明善・村松哲太郎・柴沼克己の 3 名でそれぞれ承認・推薦された。2 年任期の申請者は、種田一郎、石井正行の 2 名でそれぞれ「Subject to more information, Subject to one more event」の条件付で推薦された。

(b)IJ からの報告について

インタイ-ナショナル・ジュリー(以下 Int. Jury と書きます)を構成する場合、ナショナル・ジャッジ(NJ)についても IJ 同様に利害関係者に関する ISAF 規定を適用すべきである。Int. Jury メンバー(NJ)の子供 2 名が大会に参加していたケ

ース。

……Int. Jury の委員長は事前にメンバーが利害関係者かどうかについて確認することに同意する。

Int. Jury のメンバーが付則 N にてペナルティーを課したことについて、Int. Jury が救済したケース。

……Int. Jury の行動を支持する。

レース委員会自身が状況に見合わない長すぎるコースを設定したとして DNF となった艇について救済を認めたケース。

……Int. Jury の裁定を支持する。

レース前にコーチボートとミストラルが接触し、ミストラルの選手をコーチボートが病院に運んだケース。

……コーチの活動(救命措置をし、病院へ搬送した等)を支持する。

(c) IJ/インターナショナル・アンパイア (IU)/インターナショナル・レース・オフィサー (IRO) の大会活動報告をデータベース化することを開発することについて。

……支持する

(d) ISAF の活動、規則や政策等を支持しなかった IJ は ISAF に報告されるべきであるということが確認された。

3、IJ セミナー

(a) 2002 年には 4 回のセミナーと 2 回のクリニックが行なわれたとの報告がなされた。

(b) 各国協会のナショナル・レースオフィシャルズのナショナル・トレーニング・プログラムについてトニー・ロケット氏から提案された文書を支持する

(c) レース・オフィシャル・クリニックの統一された手続きを支持する

(d) 2003 年に開催することが既に決まっている IJ セミナーの 2 か国と、開催要請のある 4 か国が報告された。さらに 5 回のクリニックが予定されている事も報告された。長期的視野にたったローテーションが検討されるべきである。このプログラムはレース・オフィシャルズ委員会と協力して行なっていく。

(e) 欧米以外からも 2-3 名のセミナーのインストラクターが選任されることが望ましい。

(f) 委員会は 2003 年のセミナー、クリニックの予算が 9,200 英国ポンドが支出されることを歓迎する。3月21-23日に ISAF 本部にて RRS42 に関する International Judges Conference を開催する。RRS42 に関する 4 回の追加クリニックも計画されている。

4、国際大会におけるレース・オフィシャルズの任命

(a) ISAF 規定 18.12.2(国際大会におけるレース・オフィシャルズの任命)の文言を明確化 ……支持する

(b) ISAF 規定 18.12.3(国際大会におけるレース・オフィシャルズの任命)における大会名の明確化 ……支持する

(c) 各国協会は、Int. Jury が任命される大会においては IRO をプリンシプル・レース・オフィサー/レース委員長(PRO)を任命すること。……IJSC には直接関係はないが、外部から招くことは多くのクラブでは問題であろう。

5、オリンピック・クラスの大会

全てのジャッジは、ISAF から指名されたリストから選ばれ、そして ISAF により承認されること。……原則的には支持するが、NJ が参加出来る機会等を設けること。

6、IJ 管理

(a) IJ を 5 つのグループ(オリンピック級からその他まで)に分けること……2 つのグループ(RRS42 の経験の有無)に分けることについては多数決の決定で支持する。

(b) IJ/IU テストにアニメーションを活用する(日本・韓国共同提案)……可能性について研究することで支持する。2 日後に行なわれたレース・オフィシャルズ委員会にて柴沼が ISAF・小委員会側の担当者として推薦された。

(c) ISAF セミナーにては参加者に参加証(Diploma)を授与する等について……支持する。

- (d) IJ の最初の申請はシステム1(セミナー参加・テスト合格)によるものとする、但し 2 回続けて不合格となった場合は、個人的に内容を審査・評価をする。……支持する。
- 7、ジャッジの職務(RRS42、ウェート・ジャケット、装備の厳守、補正重量)の規定…… RRS42 については支持するが、他は必要なし
 - 8、規則 42 について……関係する提案については、2003 年 3 月に行なわれる IJ Conference にて論議すること支持
 - 9、競技規則委員会の議題について……関係議題について論議した
 - 10、IJ テスト……受験したものは 400 名を越えた。2002 年の試験結果が吟味された。
 - 11、IJ マニュアル……本年の 12 月までに出版する準備をしている。
 - 12、レース・オフィシャルズ委員会の議題について……関係議題について論議した
 - 13、IJSC2002 年年次報告について……2003 年 1 月 25 日までに提出される
 - 14、その他の事務的な報告があった

* 11 日(月) レース・オフィシャルズ委員会 (Race Officials Committee) を傍聴

* 12 日(火) 競技規則委員会 (Racing Rules Committee) を傍聴

以上